

ピュアコスモ

令和7年 秋 第43号

令和7年10月1日

発行：NPO 法人 ピュアコスモ

平成21年7月28日より名称が変更されました。

<http://purecosmo.com/>



「ピュアコスモ」は、兵庫県内の自閉スペクトラム症児・者とその家族、関係者及び地域社会に対して、適切な療育、正しい知識の啓発、幸せな社会生活の場の提供に関する事業を行い、自閉スペクトラム症児・者のよりよい成長、幸福な人生の創造に貢献するとともに、社会全体の利益の増進に寄与することを目的としています。

【 もくじ 】

「 総会 」 「 発達障害児のための感覚運動教室 」	2
「 つどいの場 」 「 播磨地区交流会 」	3
「 スーパーバイザー リレー講座① 」	4
「 スーパーバイザー リレー講座② 」	5
「 18才以上の子どもを持つ保護者お食事会 」 「 本人交流会 」	6
「 保護者会員のためのグループ相談会 」	7
「 ボウリング 」 「 神戸地区交流会 」	8
「 ポケモンゲームバトル大会 」	9
「 ゆうちょ財団助成事業 発達障害のある子の親なき後の準備 」	10
「 にちようカフェ土曜日版 」 「 阪神地区交流会 」	11
「 神戸市委託事業 ヒュッゲ 」 「 こんな会議に行きました 」	12

43



令和7年度 ピュアコスモ 総会

日時 令和7年5月6日（火）13時から

場所 神戸市立中央区文化センター

会員数 65 名（令和7年5月6日時点）出席者数 21 名、委任状 44 名でした。スーパーバイザーの田中究先生、嶋崎まゆみ先生、専門家ボランティアの久保田康愛先生、渡辺和美先生にもご参加いただきました。阪神地区 H さん議長のもと、総会は成立の運びとなり、第 1 号議案から第 5 号議案まで審議され賛成多数で議決されました。ご協力いただきました先生方、会員の皆様、どうもありがとうございました。

総会終了後は、スーパーバイザー、専門家ボランティアの先生方との懇親会を行ないました。参加は 25 名で 2 つのグループに分れて趣味の話やとっておきの話など、お菓子をいただきながら話が弾みました。日頃聞けない話題や雰囲気を楽しみ「楽しかった」「なごんで良かった」「ソフトな感じになった」等の感想もいただきました。

今年度もさまざまな事業を運営委員一同、力を合わせて取り組む気持ちでいます。会員の皆様、先生方、令和7年度もどうぞよろしくお願いします。

※4月19日土曜日に予定していました本人活動「みなとやま水族館へ行こう！」は最少催行人数に達しなかったため中止となりました。

発達障害児のための感覚運動教室

監修 中尾 繁樹先生 関西国際大学 教育学部教育福祉学科教授

場所 神戸市立中央区文化センター 時間 13:00～14:00

スタッフ 教育・福祉関係専門家ボランティア

日程	4/5（土）	5/10（土）	6/14（土）	7/12（土）	8/9（土）
参加者	9 名	7 名	9 名	7 名	8 名
スタッフ	8 名	8 名	9 名	6 名	7 名



今年で3年目を迎える、感覚運動教室。今年度は、3才から11才の計14名でスタート。開催当初、ご両親の後ろに隠れていた A くんが保護者の手を離れ、大きな笑い声を出し、スタッフと一緒に運動するようになりました。学校にずっと行けていなかった B くんは4月から登校している、と聞きました。今年から参加している恥ずかしがり屋さんでお母さんの手を離さなかった C ちゃんが8月の活動中、お友だちに「がんばれー！」と声援を送っていました。感覚運動が直接の原因ではないかも知れませんが、教室で見る子どもたちの変化が嬉しく、その成長を温かく見守っています。

子どもの引きこもりや心の不調に悩む保護者のための

『ピュアコスモ つどいの場』 会員限定

～同じ悩みを抱える親だからこそ、分かり合えることがあるかもしれません～

目 時・参加者 令和7年4月12日（土）13:00～15:00 2名

令和7年6月14日（土）10:00～12:00 3名 令和7年8月9日（土）13:00～15:00 4名

場 所 神戸市青少年会館

ピュアコスモでは、抑うつや不安障害、摂食障害や強迫性障害などの二次障害で困難を抱える子どもの保護者が、安心して悩みや不安を語り合える場所として、『ピュアコスモ つどいの場』を偶数月の第2土曜日に行っています。二次障害で苦しんでいる子どもを支える悩みは、同じ経験をしていない人には理解されにくく、つい心の中にため込んでしまいがちです。つどいの場は、同じような立場の保護者同士が出会い、互いに耳を傾け、共感し合える、そんな場所です。これまで4・6・8月の3回行い、累計9名の方が参加され、

- 外出が難しい摂食障害や強迫性障害のお子さんを見守りながら、保護者自身の通院や外出の時間を確保する難しさ
- 1人暮らしすることへの心配
- 家族間のコミュニケーションの難しさ
- 発達障害特有のこだわりに加え、二次障害を抱えた子どもの進学や就労の難しさ

など、日々の困りごとや支える中で感じていること、家族との関わりやお金の管理など、様々なことを語り合いました。つどいの場は、事前予約の必要はありません。何を話すか、どこまで話すかも自由です。お話をするだけなので直接の解決にはつながらないかもしれませんが、安心できる雰囲気の中で、同じような悩みを抱える人の話を聞くことで、孤独感が和らぎ、日々の生活に役立つヒントが見つかることもあります。少しでも心が軽くなるきっかけを、ここで見つけてみませんか。

播磨地区交流会 会員限定

目 時 令和7年7月6日（日）13:30～15:30

場 所 複合型交流拠点ウィズあかし 参加者 5名

◆就労中のお子さんで、親御さんの勧めたお料理教室が外出のいいきっかけになり、自ら収穫した作物を使って料理するようになったお話でほっこり和みました。

また、高校生でようやく反抗期到来し、大学受験のプレッシャーから自殺願望を語るなど、難しい年頃の対応には、先輩から経験談をお話いただき、心が軽くなりました。

◆皆さまの話してくださる出来事が刺激になり、自分の夙～な生活を見直す良い機会になります。自分は、色々諦め過ぎてないかとちょっと反省。息子が、のんびりではあるけどなりたいた自分をみつけて穏やかな日々を送れるように、お互い頼りすぎない距離感にたどりつきたいなと思いました。グループホームの体験報告や、未経験の仕事や趣味に挑戦されている話は、とても参考になりました。

自閉スペクトラム症を持つ子どもとの接し方のポイントを学ぼう～乳幼児期編～

日 時 令和 7 年 4 月 27 日（日）13:30～15:30

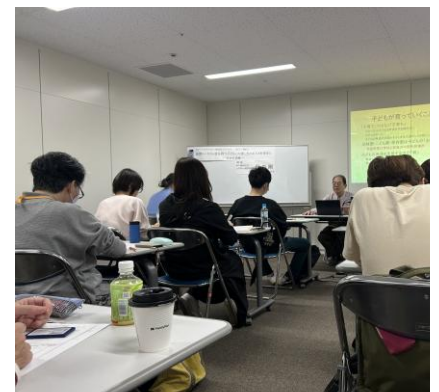
場 所 神戸市青少年会館

講 師 大島 剛 先生 （神戸親和大学 文学部心理学科 教授） 参加者 会員 9 名一般 11 名

長きにわたり、「気になる子」をたくさんご存知の大島先生をお招きし、乳幼児期ぐらいのお話をお聴きしました。子どもの特性を知る事でその子の成長を促す事が出来ます。発達検査を受けたもののその診断結果をどう活用すれば良いか悩んでいる保護者の方はもちろん、保育園、幼稚園の先生、保健センターの保健師さん、学童保育や事業所の支援員の方たちにご参加頂き、今後の支援に活かして頂きたいと思いました。また、すでに成長されたお子さんをお持ちの保護者も、子どもの乳幼児期を思い出すことで、今のサポートへのヒントが見えるかもしれません。この講座は、リレー講座①乳幼児期編から始まり、学齢期、思春期、青年期と続いていき全ての回を受講することにより、生涯のサポートの仕方が見えてくるのではないのでしょうか。「めざせ、サポートマスター！」を合い言葉に一緒に学びましょう」と言う思いを込めてこの学習会を企画しました。

参加者感想

- 資料以上に先生の経験からの補足説明があり、イメージがしやすく、職場で使いたいと思いました。
- 久しぶりに大島先生のお話が聴けて良かった。あらためて気づいたことがありました。息子の強迫性障害（確認強迫）はちょっとした違いに不安を感じているのだろうと感じました。
- 乳幼児期編ではあるが、他の年代にも通じるお話で、分かっているつもりでもあらためて思い起こせてよかった。
- 子どもは高校生なのですが、幼い頃を思い出しました。私（親）はしんどいと思っていたことが多かったのですが、それ以上に子どもは忙しく、よくわからない社会でしんどい思いをしていたのだなと考え直しています。これからはもっと優しくなれそうです。
- 困り感のある子の見方が少し変わった。
- 幼児期になぜこうなのだろうとっていて、思春期に診断がわかって尚、理解不足であったことをつくづく考えさせられました。すでに成人期にはなったものの、まだ理解をしたうえでの対応に生かせる話があったので、生かしていきたいです。
- 子どもの発達について、「受胎」母体内の発達の早さに驚きました。「心の理論」の解りにくさは確かにあり、幼児期に悩んだことを思い出しました。
- ニューヨークのお話を聞き、常に不安だという子どもの気持ちを少し理解出来た気がします。私たちにはなんでもない社会でも、ASD の子どもにとっては変化が多く、パニックを起こすほど怖い社会であることが想像できました。具体的な例をあげて話して下さったので、なるほどと思うことが多かった。「手を抜いてやれるようになったらかしい」と言われたことが印象に残った。
- 先生のお話を聞きながら当時を思い出し、子どもが小さい時にピュアコスモに出会い、先生方のお話を聞けて良かった、と思いました。



NPO 法人ピュアコスモスーパーバイザーリレー講座②

保護者と学校をつなぐ、二人三脚で子どもを育てる～学齢期編～

日 時 令和7年5月25日（日）13:30～15:30

場 所 神戸市青少年会館

講 師 嶋崎 まゆみ 先生

参加者 会員9名 一般8名



「学校との上手なつきあい方」について継続していくつものヒントを教えてください、兵庫教育大学大学院 臨床心理学コース 准教授である嶋崎まゆみ先生に、家庭と教育現場が、真ん中にお子さんたちが毎日を幸せに過ごせるよう、相手に伝えたいことをうまく伝える工夫について、教えていただきました。前もって、参加者のみなさまからいただいた、「先生にお聞きしたいこと」を講座の中で先生からお答えをいただくこともできました。また、この講座は、保護者・支援者の参加が多かったので、お互いのことを理解できるようにと、教育現場で教員のおかれている状況なども教えていただきました。

参加者感想

- 特別支援教育の場の決定の仕組みについて、知れてよかったです。
- 本などでは学べない事例を通して、気をつける事や配慮点がわかり、同じテーマであっても、今の自分の対応を学び直す機会となります。「特別支援教育の場」表による説明、大変よくわかりました。
- 学校との付き合い方が少し理解できました。
- 学校の様子などもわかり、冷静になることができました。これからは、学校の先生と共通理解を深めていきたいと思います。
- 困りごとを取り上げていただきありがとうございました。保護者である自分自身をいたわりながら、学校と仲良くやっていけるように頑張っていこうと思います。
- 学校の事情なども分かりよかったです。先生も1人の人間ですし、上手に付き合っていくことが子どものためになると思いました。

全てをご紹介できませんが、ご感想をお寄せいただき、どうもありがとうございます。

筆者も親の立場から何度となく嶋崎先生のお話をお聴きしてきました。毎回思うのは、自分の子の理解を深めていくのと同様に、学校や先生、職場の指導員がどんなタイプかを知ると冷静に賢くやり取りができるようになるということ。でも、私も苦手なんですよねえ、人づきあい。それぞれができることをやりましょう。

<学習会のお知らせ> ゆうちょ財団助成事業 発達障害のある子の親なき後の準備

～生活資金の準備と確保～

※詳しくはHPを見てね！

日 時 令和7年10月26日（日）14:00～16:00

講 師 渡部 伸先生

場 所 神戸市立中央区文化センター 1001・1002号室

参加費 無料

18才以上の子どもを持つ保護者お食事会 会員限定

日にち・参加者 令和7年5月18日（日）13名 令和7年8月3日（日）10名

場 所 ダイナミックキッチン&バー 燦 SUN 神戸 時 間 11:00～15:00

おいしいランチを食べながら、ドリンクバーでのどを潤し、広めの個室で毎回たっぷり話しています。年金や福祉サービス、困りごとの相談など話題は多岐にわたります。

- ◆ 今回は久しぶりにたくさんの方が参加され、賑やかな会となりました。お子さんがおひとりの保護者さんがお子さんの行く末をとて心配されていて、参加者のみなさんはその気持ちに寄り添いながらも、「心配し過ぎないように」と助言もされていました。最後に感想で、「先の事を心配し過ぎていた。構い過ぎていたことに気づけました」とおっしゃっていました。
- ◆ 馴染みのある参加者さんが多く、それぞれの近況報告から様々な話題に発展して盛り上がりました。バイクで事故を起こしたお子さんの話から、子どもの免許取得に不安があることや、万一事故にあった場合の連絡先などについて、経験のある方からのお話も聞けました。ただ毎回ですが、30代後半～40代に差しかかるお子さんを持つ保護者も多く、親なき後の話題は尽きることがありません。

本人交流会 会員限定

日 時・場 所・参加者

令和7年5月25日（日）13:30～15:30 神戸市青少年会館 参加者4名 スタッフ2名

令和7年7月27日（日）13:30～15:30 神戸市立中央区文化センター 参加者4名 スタッフ5名

本人交流会では、15歳以上のご本人と数名のボランティアスタッフでそれぞれ話したいことを自由に話しています。スタッフの1人が進行役となり、話す時のルールやスケジュールを確認し、1人ずつ簡単に自己紹介をしてから始めます。出てくる話題は様々で、ちょっとした日常の困りや仕事の悩み、人間関係、キャリアや進路について話すこともあれば、最近のニュースや趣味についての話で盛り上がることもあります。休憩後の後半には、話したい内容に合わせて2つのグループに分かれて話す場合もあります。話し合いの中では、「私・僕もそういうことある！」という共感の意見が出ることもあれば、「自分にはそういう経験はないなあ。でも、もし自分だったら…」と、相手の立場を想像しながらアイデアを出す場合もあります。悩みや困りが簡単に解決することはないかもしれませんが、他の人に話すことで自分の考えを整理できたり、悩んでいるのは自分だけじゃないと知って安心できたりすることもあるようです。また、趣味や好きなことの話で盛り上がる時は、とても和やかで楽しい雰囲気味わうこともできます。性別や年齢、職業も様々に異なるメンバーですが、不思議と話題がつながり、2時間はあっという間に過ぎていきます。

このように、本人交流会は毎回様々な話題について話していますが、何も話さずただその場に座っているという参加の仕方もあります。ほとんど毎回参加する方もいれば、時々ふらっと参加する方もいらっしゃいます。もし交流会の最中に疲れたら、途中で退室することもできます。とても自由な集まりですので、興味のある方は、お気軽にお申込みいただければと思います。

保護者会員のためのグループ相談会 会員限定

日 時 令和7年3月23日（日）13:30～15:30 場 所 神戸市立総合福祉センター

ファシリテーター 和田 康宏 先生

（ひょうご発達障害者支援センタークローバー センター長）

田中 究 先生 （ひょうごこころの医療センター 医師）

参加者 9名

対象当事者全員が成人しており、引きこもり、就労意欲を引き出す方法、感情コントロールが難しい場合の対応や薬に関する事等の相談がありました。

田中先生からは薬や医学的な視点から、和田先生からは具体的な支援内容についてアドバイスしていただきました。先生方からは、「本人の興味関心のあることをきっかけにして支援に繋げていくこともあるので、何に興味があるのかについて家族の力が重要になってくる。本人にとって好きなことができるという事は安心に繋がり、次に就労に繋がるきっかけになるので大切にしたい」という助言をいただきました。

参加者からは、「多くのケースを支援してこられた先生の話が聞けて良かった」「他の参加者の話を聞くことができ、皆さん悩みながらも試行錯誤しながらなんとか切り抜けてこられているのだと思い、とても有意義な時間だった」と感想をいただいております。

日 時 令和7年7月27日（日）13:30～15:30

場 所 神戸市立中央区文化センター

ファシリテーター 森口 百々子 先生

（ひょうご発達障害者支援センタークローバー 芦屋ランチ事業管理者）

嶋崎 まゆみ 先生 （兵庫教育大学大学院 臨床心理学コース 准教授）

参加者 6名

父親との付き合い方、生活スペースのこだわりについて、就労に向けての関わり方、今後相談できる窓口について、大学受験において志望校を選ぶ際の注意点、一人暮らしについて等の相談がありました。

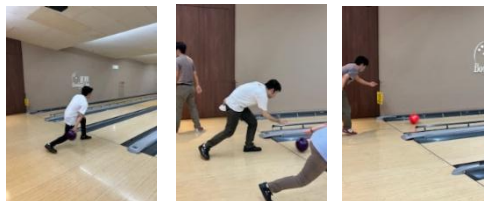
先生方から個々の相談内容について、具体的な対応方法や福祉サービスの活用についての情報提供も含めた助言をいただくことができました。印象的だったのは「一人暮らしをするために様々な準備が必要と考えてしまうが準備はしない方がよく、やってみて困った時に学ぶことができる」ことです。参加者からも「とても参考になった」「是非、経験してほしい」との感想をいただいております。

グループ相談会が、同じような子育ての難しさを抱えている保護者同士で経験、情報、気持ちを分かちあうことができる貴重な場となっていたり、他の保護者の経験を聞く事で自分自身を振り返り、新たな希望を見いだせる場にもなっています。今後も助言を受けながら保護者同士での交流が深められる機会にしていきたいと思っております。

会員交流イベント

ボウリング 会員限定

日 時 令和7年6月22日（日） 11:00～12:00
場 所 神戸ボウリング倶楽部
参加者 11名



今年度は運営委員も参加し、賑やかなボウリング大会となりました。参加申し込みをされた会員が各地区1組だったこともあり、レーンは播磨地区、阪神地区、神戸地区と別れてプレーしました。毎年参加してくれている参加者さんでさえ、年に一度のボウリング、運営委員の大半はかなり久しぶりだったようです。どのレーンも歓声と興奮で盛り上がっていました。なかなかボールは思うようには進んでくれませんが、それもボウリングの醍醐味！と楽しみました。随分久しぶりに参加してくれた方が、最後に手首を痛めてしまう、少し残念なアクシデントもありましたが、「楽しかった！」とってくださいました。何より良かったです。

参加者感想

- ・楽しかった、また、参加したい。
- ・まぐれ当たりのストライクや力みすぎのガターと、一喜一憂の2ゲームでしたが楽しかったです。屋内で、気温や天候に左右されず皆で楽しめるのも、この時期にピッタリでした。

神戸地区交流会 会員限定

日 時 令和7年3月2日（日） 13:30～15:30
場 所 神戸市青少年会館 **参加者** 7名

参加者の子どもの年齢が40才前後なので話の内容も一人暮らしのことや住居の話、親の介護などざっくばらんの話が出来ました。楽しく話が来て、内容の濃い話であつという間の2時間でした。今後の対応、集まりについても新たな考えを聞けました。

日 時 令和7年7月6日（日） 13:30～15:30
場 所 神戸市青少年会館 **参加者** 9名

高校生の子どもの保護者2名と成人の子どもの保護者7名でお互いの子どもの様子や将来子どもが一人になった時どこに相談すればいいのかや、相談窓口相談したエピソードなどの話題が上がりました。次回は、神戸市の制度や相談する時どここの窓口に行けばいいのか、神戸市の方に話を聞いてみたいとの話になりました。

ポケモンゲームバトル大会 会員限定

目 時 令和7年8月10日(日) 13:30~15:30

場 所 神戸市青少年会館

参加者 8名



バトルには4名が参加してくれました。ボランティアスタッフとして、兵庫教育大学大学院井澤研究室の院生さんが2名参加してくださいました。

院生さんたちに会の進行をしていただきました。始めに、自己紹介で、参加者さんとボラさんの【好きなポケモン】や【一番好きなポケモンソフト】などご紹介いただきました。好きなポケモンやソフトが被った方がいて、盛り上がりましたね。バトルは、いつもの総当たり戦を行いました。

バトルの後は、4人で【キタカミの里の鬼退治フェス】で交流しました。レベル6までいったのかな？【キタカミの里の鬼退治フェス】とは、ポケモンゲームの中で、チームで風船を割るゲームです。1つクリアすると、次のレベルに進み、どんどん難しくなり、報酬もレベルアップするのでしょうか。最大4人



までで一緒にすることができます。参加者さんたち、報酬の【おもち】をたくさんゲットできたでしょうか。



参加者さんたちの感想

- ・たまには対戦も楽しい。
- ・普段対戦することがないので楽しかったです。
- ・遊ぶ機会がないので、集まっていたいてありがとう。 素晴らしい1日でした。

ボランティアスタッフさんからも、

- ・みなさん、ほんとにポケモン好きなんだな。たくさんバトルしてつながってほしい。
- ・好きなものがあるっていいな。昔を思い出しました。またポケモンやりたくなった。

ボラさん、お忙しい中、ご協力いただき、どうもありがとうございます。ボラさんも対戦できればと考えていましたが、参加者さんが4人で、ちょうどいい人数だったので、対戦できず、残念でした。でも、好きなポケモンゲームがあれば、話も弾み、楽しい時間を共有できるということが、みなさんと実感できましたね。

会員のみなさまへ

毎年行われている会員お楽しみ交流会。今年は12月7日(日)を予定しています。昨年は太極拳やモルックで身体を動かしたり、ビンゴ大会でお目当ての賞品をゲットしたり、保護者交流会をしたり、と楽しい時間を過ごしました。是非、ご参加下さいね～

発達障害のある子の親なき後の準備 ～お金で学ぶさんすう～

目 時 令和7年8月24日(日) 14:00～16:00

場 所 神戸市立中央区文化センター

講 師 住山 志津枝 先生(NPO 法人 お金で学ぶさんすう®代表理事)

参加者 会員 15 名 一般 46 名



「お金で学ぶさんすう」が昨年、大変好評だったので今年も住山先生にお願いしました。昨年同様に盛況で今年は内容をより分かりやすくするためにと、お金をひと月の単位でスケジュール管理する『お金カレンダー』のツールを準備され、ワークショップ形式で体験をしたり、寸劇仕立てのお話があったりと、一段と工夫された内容で参加者からもわかりやすかったと好評でした。

① お金の管理はスケジュールの管理でもあり、時間軸の理解につながる。②生活に『必要なもの』

『楽しみなもの』を入れたお小遣いの管理や保護者が支払うお金の管理を子どもが管理すること（家計管理）への移行。③買う時と支払う時の間に時間があるほどお金の管理が難しくなること。クレジットカード決済や自動でチャージされるキャッシュレス決済はお金が見えないし、後払いとなるので注意が必要。また、残高がわかるアプリの利用などのお話がありました。これらは、家計管理をする誰しも言えることだと再認識しました。算数の和差算の計算ができることとお金の管理ができることは違い、日常生活の中で今から練習を積み重ねていくことが親なき後の準備ではないかと教わりました。なお、参加者からの事前の先生への質問についてもたくさんお答え頂きました。

参加者感想

- お金カレンダーの使い方を当事者と保護者ともに学ぶことが出来た。デビットカードとクレジットカードの違いがよく分かった。必要なお金のお取り置きなど、すぐに取り入れたいと思いました。
- 先生が最後におっしゃった「自己決定力が幸福につながる」という言葉が心に残りました。
- お金カレンダーでは、楽しみな予定を必ず入れるということがとても参考になりました。試してみます。
- 「欲しいもの」「必要なもの」を選ぶように家庭でも学習していきたいです。
- 学ぶだけではなく、カレンダーなどを使い実践しなければ意味がないので、頑張ってやっていこうと思います！
- 自分の将来に関わりがあると感じた。真剣に授業を受けることができた。
- 娘と楽しく参加できて良かったです。こういった学習会があると、中学生の娘も素直にお金について学ぶ機会になります。



↑ カードの使い方の寸劇



↑ ワークショップ



にちようカフェ土曜日版

日 時 令和7年7月12日(土) 14:30~16:00 **場 所** 神戸市立中央区文化センター
参加者 7名

「にちようカフェ」は、開催時間内ならいつ来ていつ帰ってもOKです。ピュアコスモ会員、ただし保護者の方、賛助会員の方対象です。

「にちようカフェ土曜日版」はその「にちようカフェ」を土曜日に開催し、さらに、一般公開としました。

中3の息子さんがいるお母さん3人が来られました。中3といえば、やはり、【高校受験】ですよ。私立一貫校を選択された方、高等特別支援学校に進んで欲しいという思いはあるけど、ご本人は通信制を希望されている方、公立の単位制高校を検討中の方、ほんとうにこれでいいんだろうかと。ご本人の思いと親の思いの丁度いい落としどころを探すのも神経をすり減らす作業ではないでしょうか。

スタッフ4人の子どもたちの高校受験は、はるか昔ではありましたが、お話がすすむうちに遠い記憶も戻ってきて、スタッフの体験談も聴いていただきました。高校受験も悩ましい話題ですが、この時期は思春期の悩みも同時発生。【自己肯定感の低下】も本当に心配です。解決策が見つかるわけではありませんが、話をするだけでも、または他の方の経験を聴くだけでも、よかったですね。

今年度のにちようカフェは全て土曜日版一般公開の予定です。先輩お母さんの話も聞けますが、ちょっと吐き出したい時もよかったですら寄ってみませんか。次回は、11月8日土曜日です。

～ピュアコスモらしく、やんわりとお互いに寄り添い合う～ことができればと思います。

阪神地区交流会 会員限定

日 時 令和7年3月13日(木) 9:30~12:00 **場 所** 尼崎市立小田北障害学習プラザ **参加者** 7名

中高生から30代のお子さんを持つ保護者が参加しました。10数年ぶりに参加された方もいらして、ピュアコスモの歴史(?)を感じました。近況報告では、一般就労の方、障害者就労の方、就労支援を受けている方、不登校で悩んでいる方、ボランティア活動の方等、それぞれの様子を話しました。

今回のトピックは、【扶養、保険】でした。保護者の扶養家族から離れると税金が多くなる、障害者向けの保険（入院、個人賠償責任等）のオススメは?等、経験者のお話を聴く事が出来ました。

ご自分の話を聞いてもらうだけでもホッとすることもあります。

日 時 令和7年7月7日(月) 9:30~12:00 **場 所** 尼崎市立小田北障害学習プラザ **参加者** 8名

中高生から30代のお子さんを持つ保護者が参加し、それぞれの最近の状況を話し合いました。今回は親子のどちらかが救急車で運ばれたという方が4名もいて（病名は様々でしたが）、健康は大事な、と痛感しました。以前より続行中の扶養、年金、保険などもまだまだで継続審議中!?で次回も熱い論戦が予想されます（笑）初めての方、お久しぶりの方、いつでも大歓迎！お待ちしております(^ ^)/~

15 歳からのみんなの居場所 ヒュッゲ 場所 神戸市立総合福祉センター

「ヒュッゲ」とは、デンマーク語で居心地がよく、快適で陽気な気分であることを意味します。ここでは宿題をしても、読書をしても、友だちやスタッフと話をしても OK。何もしたくない時は、ここにいるだけで OK。

学校生活がうまくいかない、将来のことが心配、こんな悩みや不安はないですか？

日 時 第 2・第 4 金曜日 17:00～19:00、第 3 土曜日 14:00～16:00 利用料 無料

対 象 神戸市に在住・在学・在勤の 15 歳以上の方

申し込み方法 氏名・年齢・連絡先（電話番号）を記入の上、メールでお申し込みください。

ご家族の相談も行っています。 お申し込み先 E-mail ibasho.hyugge@gmail.com

日 時 第 2・第 4 金曜日 16:00～17:00/19:00～20:00 第 3 土曜日 13:00～14:00/16:00～17:00

対 象 神戸市に在住・在学・在勤の思春期青年期のご家族 利用料 無料

申し込み方法 氏名・お子さんの生年月日・年齢・相談したいこと・連絡先（電話番号）を記入の上、メールでお申し込みください。



DAY!



ヒュッゲ 10 月 18 日（土）14:00～16:00

申し込み用 QR コード

イラストが好きな人！大集合！みんなでお気に入りの
イラストを持ちよう！描こう！

こんな会議に行きました

令和 7 年 4 月 15 日（火）神戸市ペアレントメンター事業調整会議 神戸市役所（久村）

令和 7 年 6 月 9 日（月）尼崎市自立支援協議会 あまのしごと部会 JR 西日本あいウィル（水谷）

令和 7 年 7 月 17 日（木）令和 7 年度第 1 回ひょうご発達障害者支援センター 連絡協議会
兵庫県福祉センター（久村）

令和 7 年 7 月 24 日（木）令和 7 年度第 1 回神戸市発達障害児（者）支援地域協議会代表者会
センタープラザ西館 6 階（久村）

令和 7 年 8 月 18 日（月）尼崎市障害者差別解消支援地域協議会 尼崎市役所（水谷）
尼崎市自立支援協議会 あまのしごと部会 JR 西日本あいウィル（水谷）

令和 7 年 8 月 21 日（木）障害者福祉等専門分科会 ZOOM （水谷）

令和 7 年 9 月 22 日（月）尼崎市自立支援協議会 あまのしごと部会 JR 西日本あいウィル（水谷）

令和 7 年 9 月 27 日（土）尼崎市自立支援協議会 あまのしごと部会（水谷）
尼崎市障害者就労支援フォーラム参加 尼崎商工会議所（水谷）